

「和文化シンポジウム」を開催！

～畳・着物・茶・花の未来への取組～

○令和8年2月10日(火曜日)、和文化を支える畳・着物・茶・花の各業界による未来への取組を紹介するシンポジウムを開催(事前申込制・参加無料)。

○申込みは令和8年2月2日(月曜日)まで。申込フォームから参加登録。

○和文化に関心のある方や業界関係者の参加を歓迎。

農林水産省は、和文化・産業連携振興協議会と連携し、令和8年2月10日(火曜日)に「和文化シンポジウム」を開催します。本シンポジウムでは、各業界の事例紹介を通じて、和文化の活性化と関連産業の振興に向けた取組を共有します。

参加費無料 事前登録制

和文化 シンポジウム

～畳・花・茶・着物四業界の未来への取組～

日時	令和8年2月10日(火) 14:00～16:10 (13:15開場)	会場	農林水産省講堂 東京都千代田区霞が関1-2-1(7F)
畳	展覧会「いま畳を語るとき」 吉田 忠史氏 COMPOS PROJECT 実行委員会 初代代表	花	横浜山手西洋館からの いけばな発信 粕谷 尚弘氏 一葉式いけばな 第四代 家元
茶	急須で引き出す 日本茶の真髄 奥富 雅浩氏 奥富園 十五代	着物	次世代を仲間にする 採用と育成 上達 功氏 日本橋 丸上 三代目社長
トークセッション コーディネーター 遠州茶道宗家 十三世 家元 小堀 宗実氏			

1. 概要

和文化は、畳、着物、茶道、華道など、日本人の暮らしに深く根付いた文化であり、いぐさ、蚕糸、茶、花きといった農産物と密接に結びついています。こうした関連産業と農産物の生産の発展を通じて、和文化は地域経済を支える重要な役割を果たしてきました。本シンポジウムでは、文化と産業の連携を強化し、川上から川下までの活性化を図ることを目的に開催します。

今回は畳・着物・茶・花きからなる「四業界の未来への取組」をテーマに、各業界の事例を紹介し、会場からの質問も交えながら活性化のヒントを共有します。四業界が連携し、産地と文化の未来を語り合う新しい試みです。

2. 開催日及び場所

日時：令和 8 年 2 月 10 日（火曜日）14 時 00 分から 16 時 10 分まで

会場：農林水産省 7 階講堂

所在地：東京都千代田区霞が関 1-2-1

3. 内容

【事例紹介】14 時 15 分から 15 時 15 分まで

①畳 「展覧会（いま畳を語るとき）」

吉田 忠史氏（COMMOS PROJECT 実行委員会初代代表）

令和 7 年 8 月にスパイラルガーデン青山で開催された展覧会「いま畳を語るとき」は、いぐさや畳の魅力を広める初の試みでした。企画の趣旨や経緯、反響、今後の課題について語っていただきます。

②花 「横浜山手西洋館からのいけばな発信」

粕谷 尚弘氏（一葉式いけ花第四代家元）

「いけばなは和室でなければ」という固定観念に対して、洋館など多様な空間での展示を実践。横浜山手西洋館での他流派との連携など、これまでの活動と今後の抱負を紹介していただきます。

③茶 「急須で引き出す日本茶の真髄」

奥富 雅浩氏（奥富園十五代）

ペットボトル茶の普及で茶葉の価値が問われる中、「100 年先の日本茶のために今できること」を掲げる狭山茶生産者。日本茶アワード運営にも携わる奥富氏から、持続可能な生産のために今できることを語っていただきます。

④着物 「次世代を仲間にする採用と育成」

上達 功氏（日本橋丸上三代目社長）

伝統産業の継続には人材確保が不可欠。生産加工の川上と流通販売の川下をつなぐ着物仲卸の現場から、採用と育成に取り組む日本橋丸上の事例を紹介していただきます。

【トークセッション】15 時 25 分から 15 時 55 分まで

遠州茶道宗家十三世家元 小堀 宗実氏

登壇者からの意見に加え、会場からの声も取り入れるトークセッション。和文化・産業連携振興協議会会長の小堀氏がコーディネーターとなり、伝統と現代をつなぐ視点で、各業界の第一線で活躍する実践者が「未来へつなぐために今、何が必要か」を多角的に議論します。

4. 申込方法

次のリンクまたは QR コードから必要事項をご入力ください。

業界関係者に加え、和文化に関心のある一般の方のご参加を歓迎します。

（事前申込制・参加無料）

[「和文化シンポジウム」参加申込フォーム](#)（外部リンク）

※申込期限：令和 8 年 2 月 2 日（月曜日）



5. 報道関係者の皆様へ

報道関係者で傍聴を希望される方は、上記の「4.申込方法」によりお申込みください。その際、報道関係者であり、傍聴を希望される旨を明記してください。

6. 添付資料

「和文化シンポジウム」チラシ



お問合せ先

農産局果樹・茶グループ

担当者：地域作物第2班

代表：03-3502-8111（内線 4996）

ダイヤルイン：03-6744-2512